

地域医療研修レポート

碧南市民病院 研修医 2 年目

今回地域医療研修として新城市民病院で 2 週間研修をさせていただきました。初診外来を中心に診療をさせていただき、多くの貴重な経験ができました。普段は救急外来での業務が多く慢性的な症状や、緊急性の低い症状に対するアセスメントをする機会が少なかったですが、今回の研修では再診での対応や健診異常を指摘されて来院された患者さんの診療も関わることができ、今後内科医としての進路が決まっている私にとって良い経験となりました。また、総合診療科は内科症例だけでなく外傷などの症例も扱っており、幅広い鑑別が求められると感じました。初診の症例に関しては毎日カンファ行っており、上級医の先生の指導を受けることができました。身体所見の取り方や問診、患者さんとの関係の築き方など様々な指導を受けることができ、今後の診療に生かしていきたいと思います。

新城市民病院は地域包括ケア病棟を有しており回復期の管理も学ぶことができました。また、医療ソーシャルワーカーさんと話す機会を設けていただき、介護保険制度や、介護保険施設についても学ぶことができました。超高齢社会で介護保険料の負担が増加していることや年金問題など、普段は直接関わることのない問題と向き合うことができ、厳しい現状を教えてくださいました。介護保険の適正利用などは、今後主治医として担当する患者さんの社会的問題や生活環境に深く関係するため、自分の理解を深める必要があると感じました。要介護認定には期間がかかるので早期から準備をすること、入院患者さんの退院後の生活を考えて行動することを意識しようと感じました。

市民病院での研修だけでなく、地域の診療所の医療にも関わることができました。診療所では限られた医療資源の中で、地域の患者さんの生活に寄り添った医療を行うことが大切だと感じました。特に CT 検査などの画像検査は簡単に行うことができないため、普段の急性期病院での医療との違いを感じました。また、総合病院への通院の労力もかなり大きいので、患者さんの ADL 低下にもつながる可能性があることを知りました。私自身将来開業を考えており、限られた医療資源や、地域性を踏まえた診療を行うことを心がけようと感じました。

今回の地域医療研修での経験を生かし、患者さんの医学的側面だけでなく、全人的な医療を行える医師になれるよう更なる努力を積んでいきます。